

# 西条ロータリークラブ 週報

週報 2023年2月9日 2月第2例会

例会日 木曜日 グランラセーレ東広島

会長 平賀 弥泉 副会長 松重 宏治 幹事 奥本 哲之 副幹事 木村 優一

## 本日の例会 第2791回

12:30 点鐘 (平賀会長)  
ロータリーソング斉唱  
お客様の紹介 (松重副会長)  
会長時間 (平賀会長)

お祝い時間 ☆入会記念日 今谷 会員、佐々木 会員、山田 会員  
奥本 会員、木村 会員、竹中 会員  
☆会社創立記念日 河内 会員  
☆連続100%出席者 今谷 会員、河内 会員

12:40 会食時間  
出席報告  
スマイルボックス発表  
委員会報告  
幹事報告

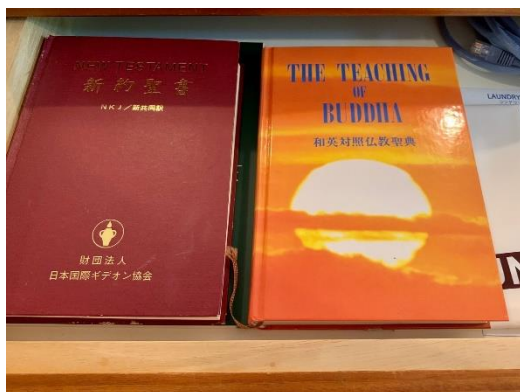
13:00 職業奉仕月間にちなんで 「優秀職業人の表彰」  
(職業奉仕委員会)

13:30 点鐘 (平賀会長)

## お知らせ

### ★今後の例会スケジュール

- 2月16日(木曜日) 西条RC奨学生 劉一杰 様(西条RC奨学生委員会)
- 2月23日(木曜日) 例会休み 天皇誕生日
- 3月2日(木曜日) 職場例会「東広島市立美術館」松田弘館長(職業奉仕委員会)
- 3月9日(木曜日) 情報集会の発表(クラブ研修委員会)
- 3月16日(木曜日) ゲスト卓話「プロ野球について」プロ野球解説者 山内泰幸 様
- 3月23日(木曜日) 例会休み(3月21日の振り替え)春分の日
- 3月30日(木曜日) 親睦委員会(花見例会予定) 18:30~20:30



### 『法句経5番』

世界の主要ホテルの部屋には「聖書」が常備されていますが、同様に「仏教聖典」というオレンジ色の表紙の本が置いてあるのをご存じでしょうか。これは日本の仏教伝道協会が世界55ヶ国に翻訳し寄贈しているものです。

この本の見開きにはお釈迦様の言葉が書かれてあり、「怨みは怨みによって果たされず、忍を行じてのみ、よく怨みを解く事を得る。これ不変の真理なり」（法句経5番）という言葉で始まっています。

分かりやすく言いますと、何かの怨みに対して、こちらが怨みで応酬すれば、また相手も怨みを増幅させます。つまり怨みに対して、怨みで仕返ししても、怨みの連鎖が続くだけで何も解決しません。この怨みの連鎖を止める方法はただ一つ、怨みを捨てること。これがいつの時代でも変わらぬ法則ですよ、と言っているのです。

この言葉には有名なエピソードがあります。日本は1945年に戦争に負けて、1951年に日本の主権承認をかけた「サンフランシスコ平和会議」が開かれます。この会議では、どの国も「もっと賠償金を出せ」「ここの領地は自分のものだ」等、日本というパイを皆で奪い合うものでした。

そんな中、セイロン（現スリランカ）のジャヤワルデネ代表（後の大統領）が、このお釈迦様の言葉、法句経5番を読み上げて演説したのです。

「怨みの連鎖はどこかで断ち切らなければならない」と言って、セイロンは賠償の請求権を放棄し講和に調印しました。そして、これに共感した仏教国、ラオス、カンボジア等も、賠償権を放棄して講和条約を結んだのです。

憎しみの連鎖を断ち切る方法はキリスト教にもあります。「聖書・ローマ人への手紙」12章19節に、「愛する者よ、自ら復讐するな、ただ神の怒りに任せよ、主言い給う、復讐するは我にあり、我これを報いん」とあります。

これは「復讐するな、復讐は神にまかせよう」「悪い奴には神が罰を与えて下さるんだ」という、神に任せる事によって憎しみの連鎖を断つ方法です。方法は違いますが、説こうとしている所は仏教と同じです。

憎しみを忘れ許す事、なかなかできない難しい事ですが、これが平和な世界・社会への第一歩となる事でしょう。

※『法句経』とは、『ダンマパダ』とも言い、日本仏教で主流の「大乘経典」ではなく、もっと古い「原始経典」と呼ばれるもので、423の短い文言で書かれています。釈尊が語った言葉がそのまま残っているものと考えられています。

例会風景 (2月2日)

木村 会員、川崎 会員 入会式

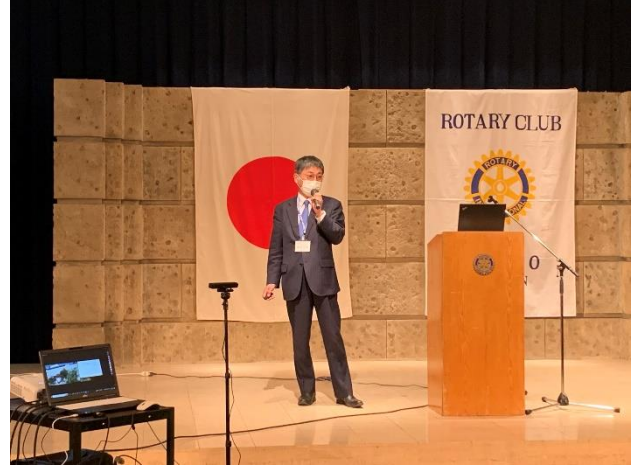


(株)ティ・ジョイ Tジョイ東広島


下田 昭 様



1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか



竹鶴政孝とニッカウキスキー



2023年2月2日  
アサヒビール(株)  
ウィスキーアンバサダー  
金子 太郎


日本のウィスキーの父・竹鶴政孝

「日本のより多くの人に  
本物のウィスキーを  
飲んでほしい」



摂津酒造時代

1916年(大正5年)  
摂津酒造に入社。  
政孝がつくった  
甘味果実酒の品質は、  
政孝の醸造技術としての  
腕を認めさせるものだった。



当時の国産ウィスキー

ウィスキーをはじめとする国産洋酒は、中性アルコールに色と香りを付けたイミテーションが主流だった。



イメージです

スコットランド留学


「なあ、竹鶴君。スコットランドへ行って、  
勉強してみよう気はあらへんか」

摂津酒造 阿部喜兵衛社長




摂津酒造  
阿部社長と政孝

グラスゴー大学に聴講生として入学

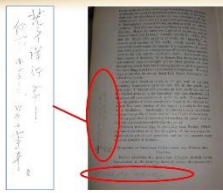


グラスゴー大学



竹鶴政孝の入学証明書

苦みのスコットランド留学時代 ～殴り書き～



頭ニハイラス、ヤケダ、イマイヤ心棒セヨ

1919年～1920年 ウィスキー蒸溜所実習



ロングモーン/クランノック蒸溜所  
ジェームス・スカルター社・ネス工場  
ヘーゼルバーン蒸溜所

1919年～1920年 ウィスキー蒸溜所実習



竹鶴ノート

1919年～1920年 ウイスキー蒸溜所実習

ロングモーン蒸溜所・ポットスチル

余市蒸溜所・ポットスチル

Jessie Roberta Cowan (リタ夫人)

スコットランド

北海道

イースト・ダンバートンシャイア

アームズ&ライト運河

大西洋

インヴァウ

イングランド

竹鶴政孝とリタ

結婚

「もしも…もしあなたが望まれるのなら、わたしは日本に帰るのを断念してこの国に留まり、職を探してもいいと考えています」

竹鶴政孝

「マサタカさんは、大きな夢に生きていらっしゃる。その夢は日本で本当のウイスキーをつくること。私もその夢を共に生き、お手伝いしたいのです」

リタ

帰国～摂津酒造退社

1920年 帰国  
摂津酒造で洋酒製造に就くも、摂津酒造が本格ウイスキーづくりを断念。

1922年 摂津酒造に辞表を提出し 帯塚山で退社生活をおくる。

キャンベルタウンでの生活

キャンベルタウンで政孝とリタが滞在したホテル

政孝が撮影したリタ

鳥井信治郎氏との出逢い・寿屋時代

1923年 竹鶴政孝 寿屋洋酒店に入社

1924年 山崎蒸溜所が完成

工場をつくる場所は北海道が一番適しています。

竹鶴政孝

工場を皆さんに見てもらえないような商品は、これからは大きく売りまへん。大阪から近いところはどうしても建てたいのや。

鳥井信治郎氏

大日本果汁株式会社 創業

1934年 北海道余市に「大日本果汁株式会社」を起し 余市蒸溜所を建設

創業当時の大日本果汁株式会社

当初の製品

ニック林檎汁

アップルブランデー

アップルワイン

カッニ

第一号ウイスキーの発売(1940年)

「会心とはいえないが、やはり感激であった」

「大日本果汁」を縮した「日果」、すなわち「ニッカウキスキー」と命名。

竹鶴ノートに記された理想

「ウイスキーは、ウイスキーの製造工場は、北極圏に近く、気候が冷たいと、雨降らない、それからのウイスキーの製造が可能です。長年ウイスキーとして「カッニ」に満足し、工場が建てられ、ウイスキーの製造工場を、無条件に、ウイスキーの製造工場にしよう。ウイスキーの製造工場にしよう。」

カフェ式連続式蒸溜機導入・宮城峡蒸溜所設立

「スコッチに負けないブレンドウイスキーをつくりたい」  
カフェレーンの製造を開始

「異なる原酒を合わせて、より芳醇なウイスキーをつくりたい」  
力強い余市とは異なる華やかなモルトづくりのため、仙台に第二の蒸溜所を設立

【1963年 カフェ式連続式蒸溜機導入】

【1969年 仙台郊外に宮城峡蒸溜所を設立】

【1999年 宮城峡蒸溜所に移設】

2. ニッカウキスキー、3つの蒸溜所

国内2つの蒸溜所

本物を追い続けた理想の地  
スコットランドの風土気候とよく似た、冷涼で湿潤な気候

余市蒸溜所

Yoichi

宮城峡蒸溜所

Miyagikyo

余市蒸溜所 ～力強く濃厚なモルト～

濃厚な原酒をつくるポットスチル

宮城峡蒸溜所 ～やわらかで華やかなモルト～

華やかな原酒をつくるポットスチル



ブレンダーに受け継がれる技と志

伝統的なウイスキーづくりを重んじながら、その時代の求める新しいウイスキーづくりに挑戦し続ける。

第一ブレンダー 竹鶴政孝  
第二ブレンダー 竹鶴寛  
第三ブレンダー 竹鶴寛  
第四ブレンダー 松岡寛  
ブレンダーチーム  
チーフブレンダー 松岡寛

ウイスキーの楽しみ方

ウイスキーの楽しみ方は十人十色！それぞれの好みに合った楽しみ方ができるのがウイスキーの良いところ

ロック	ストレート	ハイボール	お祭り
トワイニング	お湯割り	漬け込み	カクテル

竹鶴政孝「本物」への想い

「良いものをつくるのが自分の使命、だからこそ本物にこだわる」竹鶴政孝  
竹鶴政孝のウイスキーづくりの精神は今もニッカウイスキーの社員に脈々と受け継がれています。

スマイル・ボックス (Smile Box) 2月2日例会出宝分

本例会：26,000円

- ★本人の誕生日おめでとうございます。
- ★夫人の誕生日おめでとうございます。
- ★結婚記念日おめでとうございます。
- ★会社創立記念日おめでとうございます。
- ★入会記念日おめでとうございます。

- ・高原 会員、竹野下 会員、安本 会員
- ・佐々木 会員、武島 会員
- ・本田 会員
- ・河内 会員
- ・山田 会員、武島 会員、奥本 会員
- ・木村 会員、竹中 会員、河内 会員

出席報告 (2月2日例会)

お客様の紹介

ウイスキーアンバサダー  
金子 太郎 様

アサヒビール西中国支社西中国支店副部長  
本間 靖規 様

(株)ティ・ジョイ Tジョイ東広島  
下田 昭 様

呉南RC  
宇都宮 昭憲 様

入会予定者  
岩森 亮治 様

西条RC奨学生  
劉一杰 様



◆会員数 40名 ◆出席者 35名 ◆来訪者 6名 ◆欠席者 5名  
◆1月17日の欠席者 10名 ◆メイクアップ 10名  
★出席率 100% ★通算出席率 99.57%

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか